

尿素水取り扱い時の注意点

尿素水中に砂塵や水等(以下、異物と呼ぶ)が混入すると、重大な不具合が発生する恐れがあります。尿素水を給水・保管する際は、以下の点に注意した取扱いの徹底をお願いします。

Q 尿素水を給水する際の注意点はありますか？

A 尿素水タンクの中に異物が混入すると、尿素SCRシステムの故障を引き起こす恐れがありますので、以下の点に注意してください。

※尿素SCRシステム故障が発生すると、段階的にエンジン出力を制限するため、通常の作業ができなくなります。

- 給水ガン/ジョウゴは汚れが付着する場合があります。使用する際は、給水ガンのノズルに付着した汚れをきれいなウエスで拭きとり、ジョウゴ内側の汚れは尿素水で洗い流してください。
- 洗浄に使用した尿素水の処分は、各自治体指定の規則に従ってください。



- 保管用タンクを使用する場合、ポンプの脱着の際には周辺をきれいに清掃し、タンク内に異物が混入しないよう注意してください。



- 尿素水タンクの給水口キャップを開ける前に、周辺の汚れをきれいなウエスで拭き取ってください。
- 給水口キャップを外す際は、異物がキャップ内側に付着しないよう注意してください。給水口キャップが正常に閉まらないと異物が混入する恐れがあります。キャップまたはその周辺に尿素水が結晶化している場合は、きれいなウエスで除去してください。



- 尿素水を容器に移し替えて携行する際は、尿素水専用の容器を使用し、他の目的で使用した一般容器の使用は避けてください。また、尿素水に移し替える際は、容器内が汚れていないことを確認し、異物が混入しないよう注意してください。

Q 尿素水を保管する際の注意点はありますか？

A 以下6点に注意して保管してください。

- 保管容器内に異物が混入しないよう、容器を密閉し、砂塵の少ない場所で保管してください。
- 給水ノズル内部に異物が付着しないよう注意してください。
- 気温-10℃から40℃で、直射日光があたらない風通しの良い場所で保管してください。
※尿素水は-11℃以下で凍結しますが、融ければ品質に問題はありません。
※尿素水は40℃以上で保管すると、著しく劣化する可能性があります。
- 尿素水は鉄、銅、砲金、真鍮、アルミ製品及びPET樹脂製品等を腐食させる恐れがあります。保管容器は専用のポリエチレンまたはステンレス容器を利用してください。
- 尿素水が蒸発しないよう、密封された容器で保管してください。
- 軽油、ガソリン等の危険物設置場所と同じ場所で保管しないでください。

Q どのような尿素水を利用すれば良いですか？

A 尿素水(AdBlue® 相当)は、以下のいずれかの規格に適合したものを使用してください。

- JIS(日本工業規格): AUS 32 JIS K2247
- ISO(国際標準化機構): AUS 32 ISO 22241
- API(American Petroleum Institute)で認定されたもの

※尿素水は、無色透明な液体です。色がついている場合は変質または粗悪品の恐れがありますので、使用しないでください。

Q こんなときの対処方法は？

- ### A
- 尿素水が皮膚に付着した場合、きれいな水で洗い流してください。目に入った場合、大量の水で15分以上洗い流し、医師の診断を仰いでください。
 - 誤飲した場合には、コップ1～2杯の水で飲み流してください。なお、違和感が続く場合や大量誤飲した場合は直ちに医師の診断を受けてください。
 - 尿素水タンクに尿素水以外のもの（ガソリンや軽油等）を誤って補給した場合、火災や故障を引き起こす恐れがありますので、最寄の販売会社へお問い合わせください。

HITACHI

Reliable solutions

<http://www.keiyou.net>